

2016年度 同志社大学大学院 司法研究科

前期日程入学試験問題 法律科目試験

(行政法)

次の(設例)を読んで、問に答えなさい。

(設例)

X社はA県B市に産業廃棄物処理施設を設置しようと考え、A県に同施設の設置許可申請書を提出した。ところがA県では「産業廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱」が定められており、同要綱に基づき、産業廃棄物処理施設の設置許可申請を含め廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」という。)上の各種申請に際しては施設設置予定地周辺の住民との事前協議書の提出が求められる旨の説明がX社に対してなされた。設置予定の施設が廃棄物処理法の許可要件を充たすことは明らかであることから、速やかに許可がなされるものと考えていたX社が詳しく問い合わせたところ、同要綱は法令の根拠に基づくものではないが、従来は事前協議書が提出された上で許可がなされてきたとの応答がA県からなされ、X社は一応要綱に従って住民と協議することにした。

X社は平成24年4月から関係住民らと協議を重ねてきたが、同施設設置に対する住民の反対運動がしだいに大規模なものとなり、X社が何度か開催した説明会にもほとんどの住民が欠席するようになった。平成25年6月、X社は、これ以上続けても進展はないだろうと考えて協議を打ち切ることとし、すでに施設設置計画が大幅に遅れていたことから、X社の代表が同年7月以降たびたびA県庁に出向き、直ちに施設設置を許可するよう強い口調で求めた。しかし、そのたびに事前協議書の提出を求められ、いっこうに許可も不許可もなされそうになかったことから、平成27年5月、ついにX社は施設設置を断念するに至った。

[問] (配点: 50点)

X社は訴訟を提起して、A県の対応が違法であると主張しようと考えている。どのような点に着目して違法性を主張すべきであるか説明しなさい。

なお当該施設が廃棄物処理法の許可要件を充たすことはあらためて論じることなく前提としてよい。また、どのような訴訟によるかなど、行政救済法の論点にはふれなくてよい。

(参考)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(抄)

15条1項 産業廃棄物処理施設・・・を設置しようとする者は、当該産業廃棄物処理施設を設置しようとする地を管轄する都道府県知事の許可を受けなければならない。

2016年度 同志社大学大学院 司法研究科

前期日程入学試験問題 法律科目試験

(行政法)

15条の2第1項 都道府県知事は、前条第1項の許可の申請が次の各号のいずれにも適合していると認めるときでなければ、同項の許可をしてはならない。

- 一 その産業廃棄物処理施設の設置に関する計画が環境省令で定める技術上の基準に適合していること。
- 二 その産業廃棄物処理施設の設置に関する計画及び維持管理に関する計画が当該産業廃棄物処理施設に係る周辺地域の生活環境の保全及び環境省令で定める周辺の施設について適正な配慮がなされたものであること。

(三、四号は省略)